

NLPトレーニングマニュアル for プラクティショナーコース改訂表

2015/06/08 1/2

ページ	行	訂正前	改訂後
i	LL1	1996年に創設	1996年に提唱
ii	LL2	NLPの水準を引き上げる	NLP™のスタンダードを示し、その水準を引き上げる
iii	L10	監修	削除
iv	LL1	The Society of NLP	The Society of NLP™
v	見出し	著作権について	著作権について
vii	L4	for NLP プラクティショナーコース	for プラクティショナーコース
vii	L5	著作権について	著作権について
1	L4	想像	創造
9	図下	効果的なコミュのケーション	効果的なコミュニケーション
12	L4	肯定的ないい方	肯定的な言い方
12	L5	手には入ったら	手に入ったら
19	末尾 追記	聴覚は A=音や人の声と Ad (Auditory Digital: デジタル聴覚) =言葉や数字などの文字情報を区別して扱います。自分の内面で起こる思考や独り言などの言葉によるプロセスを NLP では「内部対話」と呼びます。デジタル聴覚と明確に区別するために、音や人の声に関する聴覚を At (Auditory Tonal) と表記することもあります。Ad で使われる言葉は、どの感覚モードに対応するかがそれぞれの人の体験によって解釈が異なり、複数の感覚モードに適応します。そのため「Unspecified(U): 特定出来ないもの」と表わされることがあります。	
21	表	特定出来ないもの	デジタル聴覚
25	L2	例) 1. 起こっている	例) 1. 怒っている
27	LL5	4. 次に B は A にどちらかの	4. 次に B は A にどちらの
29	L5	青い鳥が歌い。	青い鳥が歌い、
32	LL1	アルバート・メラビアン URL	削除
34	L10	話しかた	話し方
35	L8 L10	特定の 「統合」という言葉を使って	特定の 「統合」という言葉を使って
36	L1	枠で囲われている大統領就任演説	削除
40	L5	叙述のマッチング	叙述語のマッチング
40	L9	述語を	叙述語
43	視覚 聴覚	結合/分離 トーン、テンポ、音程、 速さ、リズム	結合(当事者)/分離(傍観者) トーン(音質) テンポ(速さ) ピッチ(音程) 速さ→削除 リズム(拍子)
47	視覚 聴覚	立体的か平面的か 結合/分離 テンポ リズム	立体的/平面的 結合(当事者)/分離(傍観者) テンポ(速さ) リズム(拍子)
49	L4	2. 自己の運命をすでに支配できるようになり、人生で望むどんな選択肢でも出来るとしたら、自分はどんな姿になるかを	2. もしすでに自分の人生を支配していて、人生において望むすべての選択肢を持っていたなら、自分がどんな風に見えるか
57	L3	以前よく聞いていた	以前よく聴いていた
58	LL2	スイルが提唱する Heart Centered NLP™	スイルが Heart Centered NLP™
64	LL1	訪ねます。	たずねます。
69	LL2	アンカーをかけるとことから	アンカーをかけるところから
70	LL12 LL7	過去の履歴を変え、 こんどは	過去の体験 A6 を変え、それから A1 まで 今度は
77	L3 LL7	3. こんどは	2. 今度は

	LL3	何を	何かを
81	LL8	アイソモルフィックのマッピング（対応付け）は私たちに一般化された同じ領域にとどまり、同じ背景の異なるプロセスの中で、同じ構造を使うことを可能にします。	アイソモルフィックメタファーはある状況を一般化し、同じ背景を持つ異なるプロセスを物語の中に織り込むことで、聞き手が同じ構造を活用することを可能にします。
85	図中	問題とは違うループする物語	ステイトを引き出す
91	L3 LL5	例えばβ 削除	例えば 省略
103	L1	削除	省略
108	L1	つつける	続ける
109	LL2 LL3	聞かれれば 時間を教えてください。	聞かれたら 時間を答える。
116	LL5 LL3	特別な場所、は あなたは心の中に特別な場所を	「特別な場所」は 特別な場所をあなたは心の中に
119	LL3	十分な情報を手にしているとき、私はそれからそれらを忘れ、自分の無意識を信頼（U）します。それがうまく行かないとき、それはいつも私が十分な情報を	十分な情報を手にしたら、それからそれらの詳細を忘れ、自分自身の無意識を信頼（Ad）します。それがうまく行かないとき、それはいつも十分な
120	LL4	プロセスにおいて、人の内的な	プロセスにおいて、私たちは人の内的な
121	L2	学習されたり、修正されたりします	学習され、修正されます。
125	L10	Ad=内部対話	Ad=デジタル聴覚 ※Adi/Ade を区別する必要がない場合、内部対話を Ad のみで記されることがあります。
131	L2	「ビトウィーンタイム」	削除
133	LL10	6. Aはそのリソースのあるステートにつながって（結合して）から、その	6. AはBがそのリソースのあるステートにつながって（統合して）から、Bにその
	LL8	Aはリソースのアンカーを	AはBのリソースのアンカーを
	LL3	「いま」のほう向き、戻させます。Bは前との違いをチェックしてから、タイムラインを通常の位置に戻します。	「今」がある方向を振り向いてもらいます。Bは前との違いをチェックしてから向きを元に戻し、タイムラインを後ろ向きに「今」現在の位置に戻ります。
134	L2 L4 L6	2. タイムラインを 現在の自分 そこに自分にとって	2. Bはタイムラインを 現在のB そこで自分にとって
136	見出し LL10	（恐怖症の治療） セッション始める	削除 セッションを始める
138	L2 L8 LL9	1. BはA自身をAの右上方の 他人 7. BはAがその	1. BはAに自分自身を右上方の 他者 BはAのその
145	L9	転回	展開
147	L6	認知上の一 聞く	認知上の位置 聴く／聞く
148	LL6	表面構造（表層構造）	表層構造（表面構造）
151～ 153		コースの基準	最新の情報を別紙にて添付します。
158		翻訳・監修 Copyright 2012 Anna Suil Heart Centered NLP™ All rights reserved.	翻訳 Copyright 2012 Anna Suil Heart Centered NLP™ Translation right 2012 Erika Kimura

<プラクティショナーコース開催の基準>

2015/02/16 Prac 1/2

- ・ トレーナーが有効期間内の認定証を持っていること。
- ・ トレーナーが十分な経験を積んでいることが重要です。コースを初めて開く前にプラクティショナーコースを複数回、再受講することが推奨されます。
- ・ 最低限の受講者数：コース期間中を通して、最低 3 名の受講生がいることが推奨されます。これより 1 人でも少ないと適切な実習やデモンストレーションが非常に難しくなります。
- ・ コースに必要な時間：最低 7 日～9 日間、1 日 6 時間以上、合計 50～60 時間以上をかけること。
- ・ NLP は精神科の医師の治療に代わるものではありません。通院中の方、お薬を飲まれている方、医師のサポートが必要な方は、トレーニングに参加する前に医師の治療を受け健康を回復する必要があります。

<プラクティショナーのスキル・リクワイアメント（要件）>

NLP™のベーシックなスキル、テクニック、パターンやコンセプトを活用するために最低限必要な能力

1. NLP™の基本的前提と行動との統合
2. ラポールの構築と維持
3. 言語&非言語のペーシング&リーディング
4. 言語&非言語の反応の導出
5. 感覚の経験を通してのキャリブレーション
6. 表象システム（感覚の叙述語とアクセシング・キュー）
7. ミルトンモデル、メタモデル
8. よく整った目標、方向、そして現在の状態の導出
9. 表象システムのオーバーラップとトランスレーション
10. 全感覚システムでのアンカーの導出、インストール、活用
11. 意識のシフトのための能力
12. サブモダリティ
(タイムライン、ビリーフチェンジ、スウィッシュ・パターンなどを含んだ活用)
13. 全方位のチャンキング
14. リソースにアクセスする、リソースを築く

15. 内容と状況のリフレーミング
16. メタファーの創造と活用
17. ストラテジーの発見、導出、活用、インストール
18. 行動や態度の柔軟性のデモンストレーション

※ スキルの要件は2014年12月現在、米国NLP協会が定めている要件です。

<マスタープラクティショナーコース開催の基準> 2015/02/16 Master 1/2

- ・ トレーナーが有効期間内の認定証を持っていること。
- ・ トレーナーは十分な経験を積んでいることが重要です。コースを初めて開く前にマスタープラクティショナーコースを複数回再受講することが推奨されます。
- ・ トレーナーは最初にプラクティショナーコースを最低1回、あるいはそれ以上、開催していることが非常に推奨されます。
- ・ 最低限の受講者数：コース期間中を通して、最低3名の受講生がいることが推奨されます。これより1人でも少ないと適切な実習やデモンストレーションが非常に難しくなります。
- ・ コースに必要な時間：最低7日～9日間、1日6時間以上、合計50～60時間以上をかけること。
- ・ NLPは精神科の医師の治療に代わるものではありません。通院中の方、お薬を飲まれている方、医師のサポートが必要な方は、トレーニングに参加する前に医師の治療を受け健康を回復する必要があります。

<マスタープラクティショナーのスキル・リクワイアメント（要件）>

NLP™のベーシックなスキル、テクニック、パターンやコンセプトをマスターする（熟達して使いこなす）ための能力

1. プラクティショナーレベルのすべてのスキルにおける行動能力と、それらのいくつかを同時にデモンストレーションする能力。
2. 自分や他者に対して具体的な結果を生み出す行動や態度の柔軟性をデザインする能力。
3. マスタープラクティショナーのスキル、テクニックやパターンを言語的に明確にして活用する最低限の能力。
4. ビリーフを変える
5. メタプログラムの導出と活用
6. クライテリア：クライテリアの特定と活用・クライテリアの調整
7. 意図的なマルチレベルのコミュニケーション
8. スタッキング・リアリティ
9. タイムラインパターン
10. 前提の積み重ね（前提のスタッキング）

11. 時制と空間の述語
12. 交渉
13. 推進システム
14. ストラテジーのインストール
15. 閾値パターン
16. 一般化の破壊&新しいものを築く
17. 素早い誘導、深いトランス現象
18. 深いトランスでの同一化（ディープ・トランス・アイデンティフィケーション）
19. 自分や他者に対して変化を起こせることをデモンストレーションする

※ スキルの要件は 2014 年 12 月現在、米国 NLP 協会が定めている要件です。

NLPトレーニングマニュアル
for
マスタープラクティショナーコース

掲載スキル

4 MAT

メタプログラム

ロジカルレベル

スタッキング・リアリティ

 ネステッド・ループ

トランスと無意識

ミルトンモデル

ラピッドインダクション

ディープ・トランス・アイデンティフィケーション

 (深いトランスでの同一化)

過去の体験を変える

二次利得

サブモダリティ

前提の積み重ね

時制と空間の叙述語

推進システム

閾値パターン (スレッシュ・ホールド)

影響と説得の言語 — 交渉

ストラテジーの導出

タイムライン